

業務用エアコンディショナ関連規格の JIS を制定・改正

- 業務用エアコンの関連規格が整備されました -

平成27年3月20日

店舗や事務所等主に業務用建物において使用されるエアコンの冷暖房性能やエネルギー消費効率等を規定する日本工業規格(JIS B8616)を改正しました。また、具体的な性能試験方法を規定する日本工業規格(JIS B8615-2、JIS B8615-3)を制定、改正しました。

1. 制定・改正の目的・背景

業務用エアコンの市場や最新の技術動向を踏まえ、これまで対象外であった冷暖房性能が高いエアコンのエネルギー消費効率の適切な算出を可能にするとともに、ISO 規格との整合化を図るために性能試験方法を新たに規定しました。

- (1) JIS B8616 (パッケージエアコンディショナ): 改正
- (2) JIS B8615-2 (エアコンディショナ-第2部:ダクト接続形エアコンディショナ及び空気対空気ヒートポンプ-定格性能及び運転性能試験): 改正
- (3) JIS B8615-3 (エアコンディショナ-第3部:マルチ形エアコンディショナ及び空気対空気ヒートポンプ-定格性能及び運転性能試験): 制定

2. 制定・改正のポイント

- (1) JIS B8616 の改正について

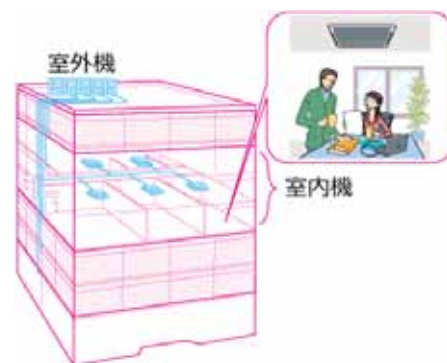
エアコンの性能向上に伴う適用範囲の拡大(従来の28kWから56kWへ)や、新たな騒音評価法の導入、使用実態に合わせたエネルギー消費効率の算出方法の見直しなどを行いました。

- (2) JIS B8615-2 の改正について

対応する国際規格(ISO13253)の改正に伴い、インバーターエアコンの試験方法を新たに規定しました。

- (3) JIS B8615-3 の制定について

対応する国際規格(ISO15042)の制定に伴い、新たにマルチ形エアコン(室外機1台に対して、複数の室内機が接続可能なエアコン)の試験方法を規定しました。



マルチ形エアコンのイメージ図

なお、JIS B8615-1 (エアコンディショナ-第1部:直吹き形エアコンディショナ及び空気対空気ヒートポンプ-定格性能及び運転性能試験)は2013年に改正されており、今回の制定・改正により、業務用エアコンに関連する試験規格全てが、ISO規格と整合した形でJISとなりました。

【担当】

経済産業省 産業技術環境局 国際標準課(03-3501-9283、内線 3426～3427)

(課長)福田 泰和

(補佐)荒井 淳

経済産業省 製造産業局 産業機械課

(課長)佐脇 紀代志

(補佐)鹿沼 昇